科目ナンバリング	U-LAS20 10001 SB48				
授業科目名<英訳>	英語リーディング 単位未修得者クラス ESR05 English Reading Class for students who haven't earned credits		担当者所属職名・氏名	人間・環境学研究科 准教授　徳永　悠	
群	外国語科目群	分野(分類)		使用言語	日本語
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ
授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）				
開講年度・開講期	2026・前期	曜時限	水4	配当学年	2回生以上
対象学生	全学向				

[技能領域]

アカデミックリーディング

[授業の概要・目的]

私たちが生きている世界は社会的に構築された「国境」で区切られている。国境線沿いに物理的な壁が存在する場合もある。国際移住や環境問題など今日の世界が直面する諸問題について考えるうえで、国境の歴史と機能を理解することは重要である。この授業では「一般学術目的の英語」（English for General Academic Purposes, EGAP）の力を伸ばすことを目的として、Alexander C. Diener and Joshua Hagen, Borders: A Very Short Introduction, 2nd edition (2024)を読み、国境をめぐる諸問題について英語で理解する力を伸ばす。

[到達目標]

１）国境に関する知識を英語で習得する。２）国境に関する英語の読解力と語彙力を身につける。３）国境について歴史的また構造的に考察して文章化し、積極的に議論する力を養う。

[授業計画と内容]

第1回：授業概要説明
第2回：Chapter 1
第3回：Chapter 2
第4回：動画教材と議論
第5回：Chapter 3 (pp.36-48)
第6回：Chapter 3 (pp.49-57)
第7回：Chapter 4 (pp.58-68)
第8回：動画教材と議論
第9回：Chapter 4 (pp.69-81)
第10回：Chapter 5 (pp.82-92)
第11回：Chapter 5 (pp.93-100)
第12回：動画教材と議論
第13回：Chapter 6 (pp.101-108)
第14回：Chapter 6 (pp.109-123), Epilogue
第15回：フィードバック

教科書を使った授業（第2、3、5、6、7、9、10、11、13、14回）では、教科書の該当範囲について議論する。該当範囲のうち、最も印象に残った段落を一つ選んで翻訳し、その段落を選んだ理由・考察を書き添えた「考察レポート」（A4・1枚、ワード文書）を該当授業前日までにLMSに添付して提出する。授業中は「考察レポート」の内容を発表する（毎回8人程度）。授業の後半はグループに分かれて教科書の内容について議論する。

英語リーディング 単位未修得者クラス ESR05(2)へ続く↓↓↓

英語リーディング 単位未修得者クラス ESR05(2)

動画教材の授業（第4、8、12回）では、授業内容に関連する英語の動画や映画を視聴したうえで議論する。提出課題はない。

[履修要件]

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

[成績評価の方法・観点]

考察レポート：70点（10回×7点）
期末レポート：30点（1回×30点）

各課題は到達目標3項目の達成度に基づき評価する。授業に遅刻また欠席したり、課題の提出が遅れたりした場合は最終的な成績から減点する。5回以上授業を欠席した場合、期末レポートを提出しなかった場合は成績評価の対象としない（不合格）。

出席は教室のICカードリーダー（出席登録システム）で登録する。「履修の手引き」にあるとおり、ICカードリーダーの出席受付時間は「授業開始15分前から1時間」とする。

この授業における翻訳作業は考察の過程として、そして、英語という言語に直接ふれる機会として重要である。考察レポートの翻訳部分について、自動翻訳サイトなどを利用したことが判明した場合、最終的な成績から大幅に減点する。考察レポートの考察部分および期末レポートは、生身の人間として問いを立てて考える力を磨くことを目的としているため、文章作成のためにAIを利用したことが判明した場合、最終的な成績から大幅に減点する。

[教科書]

Alexander C. Diener and Joshua Hagen 『Borders: A Very Short Introduction, 2nd edition』（Oxford University Press, 2024）**（必ず「2nd edition」を購入してください。大学図書館データベースでも読むことができますが、手に取って読める書籍として購入することをおすすめします。）**

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

各提出課題を期限までに準備する。

[その他（オフィスアワー等）]

担当教員の連絡先：ytokunaga28@gmail.com

[主要授業科目（学部・学科名）]